



# 熊野古道

くらくと記

38

真田信繁(幸村)が九度山を訪ねた後、蟻居生活を送っていた大坂城での活躍ぶり

玉造筋を横切り、古くから中風除けの神と

その脇には、大阪城に通じる抜け穴の鉄条

天王寺駅経由で、幸村

田の故郷を想い、閉

壊した。この行動力は

が気になり、五月晴れに誘われてJR玉造駅(大阪市)に降りた。赤い幸村の幟旗に誘われて、生活感のある幸村ロードをくぐって

三光神社の石段を登ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

三光神社を訪ねた。幸村は安居神社に逃れて休息、そ

の猛攻に抗し切れず、

# 冬の陣・真田山と夏の陣・茶臼山(大阪市) 絵と文・熱田親憲 題字・熱田秦華

## 「日本一の兵」語り継がれ

心眼寺の跡地に、大阪城の南方の出城として、1614(慶長19)年11月の冬の陣に備えられた。幸村は鉄砲隊を配備し、背に木村重成、長宗我部盛親、大野治長を配し、家康軍の前田利常、松平忠貞、伊達政宗らと戦った。真田軍は大勝し、茶臼山に陣取った家康と和議が成立。即座に偃月城と呼ばれた砦を取り

壞した。この行動力は

向かいの細い参道を100ほど入ると、ク

スノキとカシの木に囲まれた本殿で幸村の慰

靈祭・幸村まつりの儀式が終わってばかりで

あつた。思えば夏の陣の1615(慶長20)年5月7日に、本殿右側にある「さなだ松」

が氣になり、五月晴れに誘われてJR玉造駅(大阪市)に降りた。赤い幸村の幟旗に誘われて、生活感のある幸村ロードをくぐって玉造筋を横切り、古くから中風除けの神と通じる抜け穴の鉄条扉が見え、「真田丸」の砦の一部の役割を果たしたようだ。九度山の抜け穴とは緊張感を異にしていた。砦の拠点はこの神社と背中合わせに現存している

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜つて繁栄した事でも有名である。一心寺から国

道25号線を横断して、

その脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。居ながら父・昌幸とともに人間らしい生活をした九度山が懐かしく思い出しているように思えた。武将の顔

幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦場の説明があった。「紅

丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろうかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が

届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢

に踏み込んでいく決死の兵」として語り継

がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

ではない。  
幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦場の説明があった。「紅丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろうか。また「真田丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろうかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢に踏み込んでいく決死の兵」として語り継がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜つて繁栄した事でも有名である。一心寺から国

道25号線を横断して、

その脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。居ながら父・昌幸とともに人間らしい生活をした九度山が懐かしく思い出しているよ

うに思えた。武将の顔

幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦

場の説明があった。「紅

丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろ

うかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢に踏み込んでいく決死の兵」として語り継

がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜つて繁栄した事でも有名である。一心寺から国

道25号線を横断して、

その脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。居ながら父・昌幸とともに人間らしい生活をした九度山が懐かしく思い出しているよ

うに思えた。武将の顔

幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦

場の説明があった。「紅

丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろ

うかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢に踏み込んでいく決死の兵」として語り継

がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜つて繁栄した事でも有名である。一心寺から国

道25号線を横断して、

その脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。居ながら父・昌幸とともに人間らしい生活をした九度山が懐かしく思い出しているよ

うに思えた。武将の顔

幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦

場の説明があった。「紅

丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろ

うかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢に踏み込んでいく決死の兵」として語り継

がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜つて繁栄した事でも有名である。一心寺から国

道25号線を横断して、

その脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。居ながら父・昌幸とともに人間らしい生活をした九度山が懐かしく思い出しているよ

うに思えた。武将の顔

幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦

場の説明があった。「紅

丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろ

うかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢に踏み込んでいく決死の兵」として語り継

がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜つて繁栄した事でも有名である。一心寺から国

道25号線を横断して、

その脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。居ながら父・昌幸とともに人間らしい生活をした九度山が懐かしく思い出しているよ

うに思えた。武将の顔

幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦

場の説明があった。「紅

丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろ

うかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢に踏み込んでいく決死の兵」として語り継

がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜つて繁栄した事でも有名である。一心寺から国

道25号線を横断して、

その脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。居ながら父・昌幸とともに人間らしい生活をした九度山が懐かしく思い出しているよ

うに思えた。武将の顔

幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦

場の説明があった。「紅

丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろ

うかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢に踏み込んでいく決死の兵」として語り継

がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜つて繁栄した事でも有名である。一心寺から国

道25号線を横断して、

その脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。居ながら父・昌幸とともに人間らしい生活をした九度山が懐かしく思い出しているよ

うに思えた。武将の顔

幸村が本陣を置いた茶臼山の頂上に、古戦

場の説明があった。「紅

丸」のドラマで、どの旗を群れなびかせた

真田の赤備えが陣構

ようによく表現されるのだろ

うかと思いを巡らせながら帰路につくと、足元は熊野街道だった。長い歴史の中で街

の本陣目掛けて三度の攻撃を仕掛け、あとわずかで家康の首に手が届くところまで攻めた

が、数にまさる越前勢に踏み込んでいく決死の兵」として語り継

がれ、後の世界戦争にどんな影響を与えたの

たのである。傍らにあ

る幸村公銅像の雄姿とだぶ

三光神社の石段を登

ると、勇ましい幸村公の銅像が迎えてくれた。

次に夏の陣の激戦地に向かうため玉造から

天王寺駅経由で、幸村

の脇には、大阪城最期の地と言われている安居神社を訪ねた。

神社は菅原道真公の御

神徳厚く、中でも大丸の業祖、下村彦右衛門

は大きな御加護を賜